



これまでの活動の大枠を捉えてもらえれば、嬉しいです。

農業省派遣隊員 勉強会

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

年明けに新隊員を迎え、トンガの農業省に計 4 名の JICA ボランティアが在籍することになりました。私自身も帰国まで 2 ヶ月となり、後続隊員への引き継ぎにも力を入れ、少しずつ業務内容をシフトしています。活動内容の共有や引き継ぎを主な目的として、農業省派遣隊員の勉強会を実施しました。今号では、その勉強会の内容を簡単にご紹介したいと思います。

① 活動報告：新隊員も出席した今回の勉強会。私がこれまでに取り組んできた活動を時系列で説明したパワーポイントを作成し、大まかな隊員生活の流れを共有しました。活動内容の列記にとどめず、当時抱えていた悩みなども加えて、より具体的なエピソードも交えて紹介。



クッキングデモに向けた試作品。
トンガ人の反応やいかに。

② 農業省の説明：各々任地は違えど、同じ配属部署。農業省という組織下で働くことは一緒。農業省派遣隊員として押さえておくべきイベントやワークショップの運営方法、各島の特徴を自身の体験談を交えながら説明しました。私がどのようにして農業省のスタッフやコミュニティと人脈を築いたのか、ボランティアと多くの時間を過ごすであろう農業省の主要人物も伝え、後続隊員がよりスムーズに農業省の一員として働くことができれば、私も嬉しく思います。

③ クッキングデモに向けた試作：栄養士資格を持つ隊員の知恵を借り、トンガ人ウケするようなメニューの考案を行いました。任地で試作し、不評だった料理を失敗例として共有。トンガで簡単に入手可能な食材を考慮しながら、パイヤを使った料理 4 品を作り、意見交換。新隊員にはトンガ人と日本人の食に対する感覚の違いや傾向等を実践的に知る機会になったのではないかと思います。私自身も次回の巡回時のメニュー案となり、有意義な時間となりました。

農業省が NCDs 対策に取り組むのは、大洋州の中でもトンガのみ。トンガの人たちの健康意識をより一層高められるよう、各島の特徴を互いに理解しながら、農業省派遣隊員間で連携強化を図れるような環境を整えたいです。



チーム農業省。
帰任までの僅かな期間でも一緒に連携して、できることを探っていきたいと思っています。